



共創の技法

テーマ 歴史的建築を保存するための実測術

建築の専門教育を受けていない人を対象とした、ゼロからできる建築の実測術です。コンベックス（携帯サイズの巻尺）を用いて測り、平面図、断面図を作成します。手描き、そしてCADにも挑戦します。致道博物館内の民家を対象として行います。

国による上からの都市計画から基礎自治体へ、さらに市民が参加する協働のまちづくりへと移りつつある現在、目指す都市像も大きく変わりつつあります。高層ビルの建ち並ぶ未来都市から、歴史的建築を保存して、町並み全体の住環境や、そこに生まれた美しさを守ることが課題となってきました。

そのとき、保存に立ち上がり、町を守っていく主体は市民であり、そのためには建築や都市に関する基礎的素養が必要となってきます。

この授業では、歴史的建築の保存に必要な平面図や断面図を、自ら実測し、製図してつくることを目標とします。また、平面図や断面図の役割、何がそこから読み取れるのかについても解説します。


【講師】 温井 亨 氏（東北公益文科大学准教授）

酒井 信一郎 氏（建築家、有限会社パオ）

開講日	内 容
4月19日(木)	① オリエンテーション
4月26日(木)	② 実測の方法：講義と練習
5月12日(土)	③ 民家の平面実測：致道博物館
5月12日(土)	④ 民家の平面実測：致道博物館
5月12日(土)	⑤ 民家の平面実測：致道博物館
5月17日(木)	⑥ 製図：手描き
5月24日(木)	⑦ 民家解説、平面図から読み取れるもの
6月2日(土)	⑧ 民家の断面実測：致道博物館
6月2日(土)	⑨ 民家の断面実測：致道博物館
6月2日(土)	⑩ 民家の断面実測：致道博物館
6月7日(木)	⑪ 製図：手描き
6月14日(木)	⑫ CAD
6月21日(木)	⑬ CAD
6月28日(木)	⑭ CAD
7月5日(木)	⑮ まとめ

■会場：東北公益文科大学 鶴岡キャンパス（大学院）、致道博物館

■時間：18:00～19:30（90分）※③～⑤、⑧～⑩は、同日10:30～16:10（休憩含む）

<p>◎お申込方法</p>	<p>●受講料 20,000円（初回受講時に会場受付にて申し受けます。） 単位認定をご希望の場合は、30,000円（※） <u>別途指定するテキストをご準備いただきます。詳細は、お申込時にご連絡します。</u></p> <p>●定員 20名</p> <p>●申込方法 電話、FAX、電子メールのいずれかで下記事項をお知らせの上、お申し込みください。</p> <p>*講座名 *氏名（ふりがな）*住所 *電話番号 *所属（会社・学校名） *メールアドレス *単位認定希望の有無</p> <p>●申込締切 4月12日（木）（定員になり次第、締切らせていただきます）</p>	<p>●会場案内図</p>  <p>●東北公益文科大学大学院</p>
<p>◎お申込先</p>	<p>●東北公益文科大学大学院事務局 〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町14-1 TEL：0235-29-0555 FAX：0235-29-0556 E-Mail：gs@koeki-u.ac.jp URL：http://gs.koeki-u.ac.jp/</p>	

（※）単位認定 本大学院学則に基づき、所定の評価方法により合格した方に対して、本大学院の単位を認定します。